



## 平成30年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社トーセ  
 コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 中川 尚樹  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-342-2525

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	717	28.0	47		36		38	
29年8月期第1四半期	560	2.5	92		42		52	

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 25百万円 ( %) 29年8月期第1四半期 11百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	5.12	
29年8月期第1四半期	6.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	6,856		5,781			84.0
29年8月期	6,789		5,902			86.6

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 5,760百万円 29年8月期 5,880百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		12.50		12.50	25.00
30年8月期					
30年8月期(予想)		12.50		12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,409	38.0	63		84	221.3	34		4.59
通期	5,654	20.2	510	65.7	553	36.2	308	47.1	40.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期1Q	7,763,040 株	29年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	30年8月期1Q	182,637 株	29年8月期	182,517 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期1Q	7,580,433 株	29年8月期1Q	7,489,288 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成30年1月12日に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、「プレイステーション4」の普及拡大が続く中、「Nintendo Switch（ニンテンドースイッチ）」が発売から9ヶ月余りで全世界累計販売台数1,000万台を突破するなど（任天堂株式会社発表）、家庭用ゲーム市場における復調の兆しが見られました。一方で、スマートフォンゲーム市場は、国内の成長率に鈍化が見られるものの、海外を中心に今後も拡大していくものと思われる。そういった中、有力なIP（知的財産）を活用した品質の高いコンテンツを供給するため、開発費、運営費及びプロモーション費用が増加するなど、ユーザー獲得に向けた競争がより激化する状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは「サービス業務の拡大」、「グローバル化の推進」、「サービス分野の拡大」及び「収益基盤の拡充」の4つの成長戦略の推進に取り組み、中長期的な企業価値と資本効率の向上に努めてまいりました。そういった中、当社グループが開発・運営をサポートしているスマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストライバルズ（配信元：株式会社スクウェア・エニックス）」が1,200万ダウンロードを突破いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、スマートフォン向けゲームにおいて運營業務を着実に遂行したことなどにより、売上高は7億17百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

利益面につきましては、上述のとおり売上高が増加したものの、前連結会計年度と同様に顧客と取り決めた開発スケジュールの関係上、売上の計上時期が第2四半期以降に集中していることから、営業損失47百万円（前年同期は営業損失92百万円）、経常損失36百万円（前年同期は経常損失42百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失38百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失52百万円）となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け1タイトル、パソコン向け1タイトル、携帯端末向け6タイトルの合計8タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### ①デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、スマートフォン向けゲームの開発依頼の増加に伴い、適切な人員配置を行うべく、モバイルコンテンツ関連に多くの開発人員を投入した結果、1億31百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、スマートフォン向けゲームにおいて運營業務を着実に遂行し、運営売上が大幅に伸長した結果、4億94百万円（前年同期比58.1%増）となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、規制強化の影響により引き続き厳しい受注環境が続いたものの、41百万円（前年同期の売上はありません）となりました。

この結果、当事業の売上高は6億67百万円（前年同期比36.1%増）となったものの、ゲームソフト関連を中心にロイヤリティ売上が減少した影響により、営業損失7百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

#### ②その他事業

当事業におきましては、東南アジア向けコンテンツ配信事業やSI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業やパソコン向けアバター制作業務などの新規事業を展開しております。

子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにおいて、新規案件の受注が低調に推移した結果、当事業の売上高は49百万円（前年同期比29.0%減）となりました。なお、事業戦略の見直しに伴い、前連結会計年度に発生した東南アジア向けコンテンツ配信事業における先行投資の費用計上がなくなったことで赤字幅が縮小し、営業損失39百万円（前年同期は営業損失87百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して67百万円増加し、68億56百万円となりました。資産の部におきましては、有価証券、仕掛品などが増加した一方で、現金及び預金、売掛金などが減少したことにより流動資産が1億46百万円減少しております。また、償却による有形固定資産の減少などがあったものの、投資不動産などの増加により固定資産が2億13百万円増加しております。

負債につきましては、買掛金、未払法人税等、賞与引当金が減少したものの、前受金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1億87百万円増加し、10億74百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴い、利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末と比較して1億20百万円減少し、57億81百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,536,532	2,523,104
売掛金	778,577	312,893
有価証券	253,848	259,385
仕掛品	261,945	569,367
繰延税金資産	60,441	58,909
その他	57,193	79,486
貸倒引当金	-	△1,110
流動資産合計	3,948,538	3,802,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,261,505	1,264,415
減価償却累計額	△684,207	△692,352
建物及び構築物（純額）	577,298	572,063
工具、器具及び備品	301,165	306,336
減価償却累計額	△282,674	△284,990
工具、器具及び備品（純額）	18,490	21,345
土地	709,565	709,565
その他	68,296	68,296
減価償却累計額	△62,493	△63,061
その他（純額）	5,802	5,235
有形固定資産合計	1,311,156	1,308,209
無形固定資産		
ソフトウェア	25,192	25,089
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	27,327	27,224
投資その他の資産		
投資有価証券	648,895	549,833
退職給付に係る資産	22,802	22,034
繰延税金資産	9,160	3,100
投資不動産	381,266	706,538
減価償却累計額	△71,545	△73,347
投資不動産（純額）	309,721	633,191
その他	511,760	510,925
投資その他の資産合計	1,502,339	1,719,085
固定資産合計	2,840,823	3,054,519
資産合計	6,789,361	6,856,556

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,708	69,722
未払法人税等	34,041	8,239
前受金	73,502	176,286
賞与引当金	137,890	65,872
役員賞与引当金	-	6,000
その他	268,012	423,472
流動負債合計	596,156	749,594
固定負債		
役員退職慰労引当金	250,978	254,453
その他	39,674	70,657
固定負債合計	290,652	325,110
負債合計	886,809	1,074,705
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,774,464	3,640,906
自己株式	△172,512	△172,779
株主資本合計	5,882,136	5,748,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,899	19,382
為替換算調整勘定	15,029	19,180
退職給付に係る調整累計額	△27,179	△26,182
その他の包括利益累計額合計	△1,250	12,379
非支配株主持分	21,667	21,159
純資産合計	5,902,552	5,781,851
負債純資産合計	6,789,361	6,856,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	560,957	717,848
売上原価	448,351	544,980
売上総利益	112,605	172,867
販売費及び一般管理費	205,273	220,524
営業損失(△)	△92,667	△47,656
営業外収益		
受取利息	3,122	2,640
受取配当金	1,709	1,108
投資有価証券評価益	30,158	2,428
不動産賃貸料	13,587	12,658
為替差益	5,639	-
雑収入	3,783	3,164
営業外収益合計	57,999	22,001
営業外費用		
支払利息	4	-
持分法による投資損失	105	-
不動産賃貸費用	7,774	7,701
為替差損	-	3,054
雑損失	17	-
営業外費用合計	7,902	10,756
経常損失(△)	△42,570	△36,411
特別利益		
投資有価証券償還益	-	3,135
新株予約権戻入益	170	-
特別利益合計	170	3,135
特別損失		
固定資産除却損	4	-
有価証券売却損	18,488	-
特別損失合計	18,492	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,892	△33,276
法人税、住民税及び事業税	9,038	2,626
法人税等調整額	△17,574	3,406
法人税等合計	△8,536	6,032
四半期純損失(△)	△52,356	△39,309
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△179	△508
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,177	△38,801

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純損失(△)	△52,356	△39,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,891	8,482
為替換算調整勘定	△1,513	4,150
退職給付に係る調整額	942	997
その他の包括利益合計	41,320	13,630
四半期包括利益	△11,036	△25,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,857	△25,171
非支配株主に係る四半期包括利益	△179	△508

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	490,636	70,321	560,957	—	560,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,336	7,612	9,948	△9,948	—
計	492,972	77,933	570,906	△9,948	560,957
セグメント損失(△)	△5,551	△87,115	△92,667	—	△92,667

(注)1 売上高の調整額△9,948千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	667,932	49,916	717,848	—	717,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	337	8,938	9,275	△9,275	—
計	668,269	58,854	727,124	△9,275	717,848
セグメント損失(△)	△7,752	△39,904	△47,656	—	△47,656

(注)1 売上高の調整額△9,275千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。